

“脱炭素型ライフスタイルに挑戦！”

かごしまゼロカーボンチャレンジ

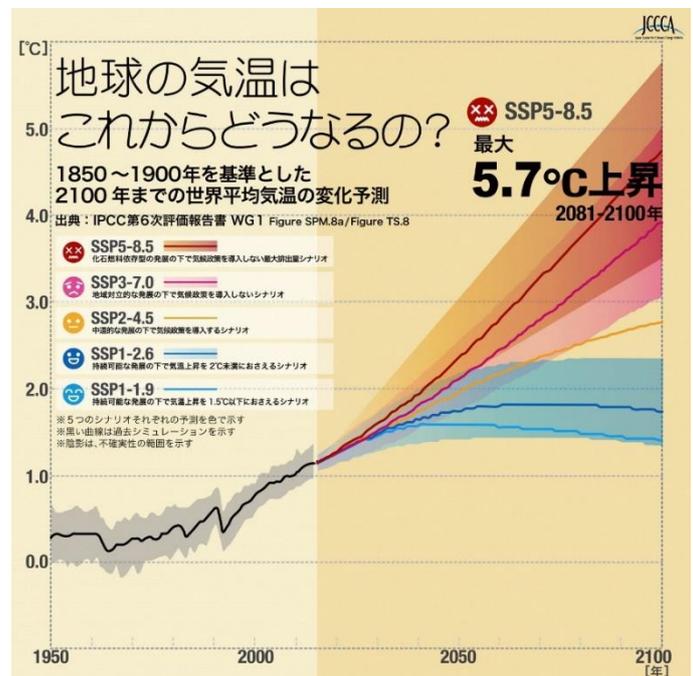
このままでは命が危ない

いまの生活を何も変えないと、2100年には**地球の気温が5℃以上あがる**といわれています。
 気温があがると、**暑い日が増える**だけではなく、**大雨**が降ったり、**海水面が上昇**したり、
 私たちの生活に影響があります。このままでは、将来、鹿児島市に住めなくなるかもしれません。

どうして気温があがる？

私たちは生活の中で、**電気**や**ガソリン**などの**エネルギー**を使います。そうすることで、**二酸化炭素(CO₂)**などの**温室効果ガス**を出しています。

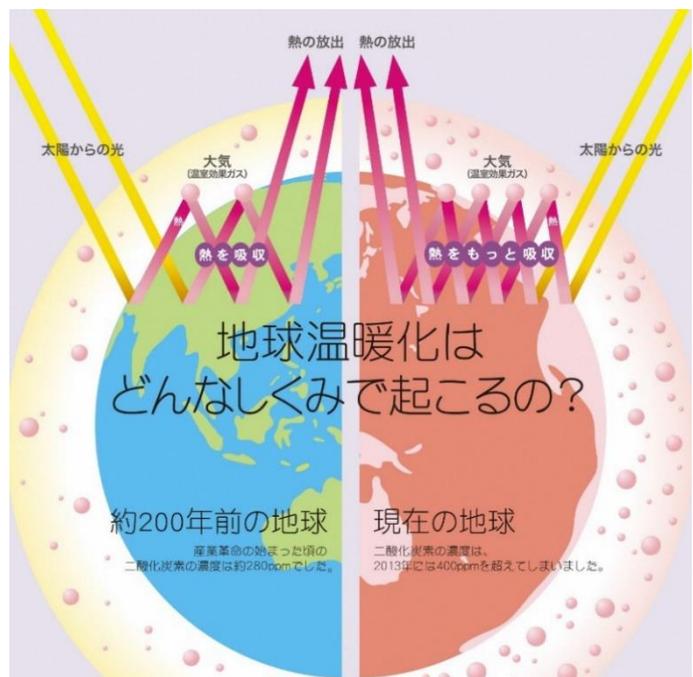
このガスが、地球の気温を上げる原因といわれています。このように気温があがることを**地球温暖化**といいます。



地球温暖化の原因は人間

温室効果ガスは、地球上の熱を宇宙に逃げにくくし、気温を一定にする役割があります。

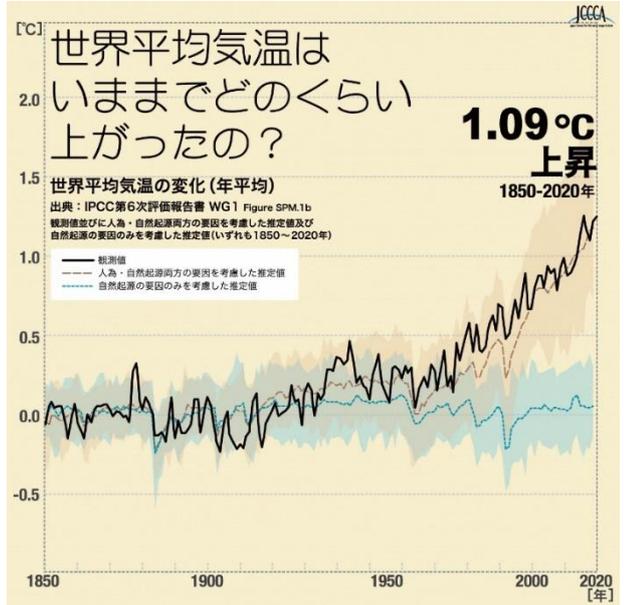
しかし、18世紀の産業革命から、私たち人間が**石炭や石油を大量に使い、たくさんのCO₂を出した**ことで、これまで以上に熱が地球上に残ってしまい、気温があがっていると考えられています。



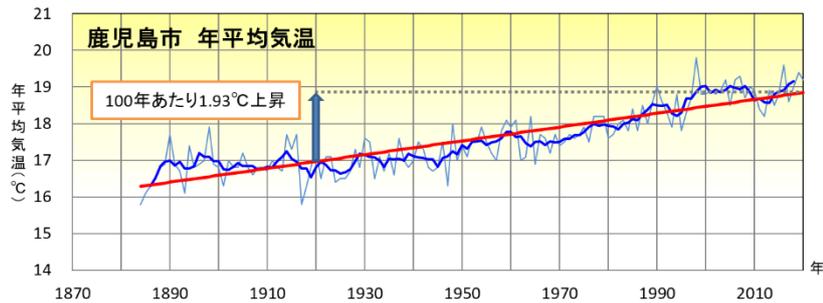
どのくらい気温があがっている？

世界の平均気温は、産業革命の後からあがりはじめ、
 いまでは **1.09°C** あがっています。
 また、日本の平均気温は、100年あたり **1.35°C**
 あがっています。

画像出典: JCCCA(全国地球温暖化防止活動推進センター)



鹿児島市でも、100年あたり **1.93°C**
 あがっており、日本の平均気温より高くなっています。
 これは、**ヒートアイランド現象***の影響もあるといわれています。



画像出典: 気象庁

※ヒートアイランド現象: アスファルトやコンクリートが太陽の熱で暖められることなどにより、都市部の気温がその周りより高くなること

どうやったら地球温暖化の影響を小さくできる？

地球温暖化の影響をできるだけ小さくするため、気温があがるのを **1.5°C** で止められるように、世界の各国が普段の生活から出る **CO₂を2050年までに実質ゼロ(ゼロカーボン)** にしようと取組を始めています。

実質ゼロ: 人の生活からのCO₂排出量と、森林などによるCO₂吸収量が等しくなること。

ゼロカーボンに向けては、「**省エネ**」と「**再エネ**」が必要で、例えば、次のような取組があります。



節電の取組や、電車・自転車の利用によりエネルギーの使用量を減らす。**(省エネ)**



必要なエネルギーは、太陽光や風力など再生可能エネルギーを使う。**(再エネ)**

鹿児島市のゼロカーボンの実現には、2030年までに、**市民1人あたり年間で 3,900kg (6,900-3,000)のCO₂を減らす必要がある**といわれています。

現在
6,900kg

例えば…自宅に太陽光パネルを設置 -1,220kg
 マイカーを電気自動車に -400kg
 そのほか自宅での省エネなど

マイナス
3,900kg

2030年
3,000kg

次のページの「ゼロカーボンチャレンジシート」を参考に、できることから脱炭素型ライフスタイルを始めてみませんか。 出典: 脱炭素型ライフスタイルの選択肢(国立環境研究所等)

ゼロカーボンチャレンジシート

「CO₂排出量を減らせるチャレンジの例」から、挑戦する項目をチェックし、実際にできることから取り組んでみましょう。

挑戦した日数と「減らせるCO₂の重さ(1日あたり)」を掛け算して、減らすことができたCO₂の重さを計算できます。(市ホームページに計算用のエクセルファイルがあります。)



CO ₂ 排出量を減らせるチャレンジの例 〔各チャレンジの解説は市ホームページをご覧ください。〕	挑戦する項目	減らせるCO ₂ の重さ		節約できる金額	できた	続ける これからも	できなかった	
		(年間)	(1日あたり)	(年間)				
エアコン	無理のない範囲で室内温度を上げる	<input type="checkbox"/>	14.8kg	0.04kg	940円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	月に1~2回はフィルターを清掃する	<input type="checkbox"/>	15.6kg	0.04kg	990円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ	見ないときは消す	<input type="checkbox"/>	8.2kg	0.02kg	520円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	画面は明るすぎないように調節	<input type="checkbox"/>	13.2kg	0.04kg	840円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
照明	電球をLEDに変える	<input type="checkbox"/>	43.9kg	0.12kg	2,790円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	使わない電気は消す	<input type="checkbox"/>	1.6kg	0.01kg	100円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	ものを詰め込みすぎない	<input type="checkbox"/>	21.4kg	0.06kg	1,360円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	無駄な開閉をしない	<input type="checkbox"/>	5.1kg	0.01kg	320円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	開けている時間を短く	<input type="checkbox"/>	3kg	0.01kg	190円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	電気ポットを使わないときはプラグを抜く	<input type="checkbox"/>	52.4kg	0.14kg	3,330円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	シャワーは流したままにしない	<input type="checkbox"/>	28.7kg	0.08kg	3,210円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	掃除機をかける前に部屋の片づけ	<input type="checkbox"/>	2.7kg	0.01kg	170円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市内移動は公共交通機関や自転車で	<input type="checkbox"/>	440kg	1.21kg	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	自宅でクールビズ	<input type="checkbox"/>	90kg	0.25kg	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	使い捨てのものは控える	<input type="checkbox"/>	90kg	0.25kg	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	食品ロスをゼロに	<input type="checkbox"/>	50kg	0.14kg	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

出典：省エネポータルサイト(資源エネルギー庁)、脱炭素型ライフスタイルの選択肢(国立環境研究所等)

チャレンジ期間： 年 月 日 ~ 月 日 (日間)

減らせたCO₂の重さ： kg (取り組んだ項目の合計値)

※計算用のエクセルファイルを市ホームページに準備しているので、ご利用ください。

削減目標

11kg/日
77kg/週
3,900kg/年

この他にも様々なチャレンジの例があります。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。



チャレンジ結果を教えてください

みなさんがチャレンジした項目や減らせたCO₂の重さなど、チャレンジした結果を教えてください！チャレンジしてみた感想も教えていただけると嬉しいです！スマートフォンから、二次元バーコードを読み込んでご入力ください。



デコ活

“デコ活”とは、環境省による「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称で、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む”デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

“デコ活”には、いろいろな取り組みがあります。その一例をご紹介します。

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ（LED・省エネ家電などを選ぶ）
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ（食品の食べ切り、食材の使い切り）
- ツ** つながるオフィス テレワーク（どこでもつながれば、そこが仕事場に）



“デコ活”アクションは他にもたくさん！詳しくは環境省のホームページへ。➡



チャレンジシートの項目も、それぞれが“デコ活”アクションです！
ゼロカーボンにチャレンジしながら、“デコ活”で暮らしを彩り豊かにしましょう！

ゼロカーボンシティかごしま SNS

鹿児島市は、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現を目指し挑戦しています！

ゼロカーボンシティかごしまSNSでは、脱炭素に関する情報や市の取り組みを発信中！



Instagram



Facebook



X

#ゼロカーボンシティかごしま
#OKかごしま
でみんなのチャレンジを投稿してね！

